



平成21年10月5日

各 位

東京都千代田区平河町一丁目4番12号  
株式会社ベルパーク  
代表取締役社長 西川 猛  
(JASDAQコード番号: 9441)  
問合せ先  
管理本部長 石川 洋  
TEL 03-3288-5211

### 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年7月6日に公表した業績予想及び平成21年2月12日に公表した配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成21年12月期通期業績予想の修正 (平成21年1月1日～平成21年12月31日)

##### (1) 業績予想修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 42,000	百万円 2,120	百万円 2,100	百万円 1,050	円 銭 17,399.37
今回修正予想 (B)	44,436	3,034	3,002	1,668	24,925.27
増減額 (B-A)	2,436	914	902	618	—
増 減 率	5.8%	43.1%	43.0%	58.9%	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年12月期)	32,437	1,409	1,395	1,122	17,758.81

##### (2) 業績予想修正の理由

###### ① iPhone 効果による新規販売増

当社が主力として取り扱う携帯電話のソフトバンクモバイルは、6月26日に「iPhone™3G」の後継機であります「iPhone™3GS」の発売を行いました。旧機種より処理スピードが2倍に高速化された同端末は好評で、全キャリア総合の端末モデル別販売ランキングで首位となり、特に郊外より都市部を中心に売れていることから、都市部中心に店舗網を展開している当社は、大きく販売数を伸ばしました。立地の良さに加えて、当社が販売台数を大きく伸ばした要因としては、かねてより

「iPhone™3G」シリーズに代表されるスマートフォン型の携帯電話がモバイルインターネット時代における大きな潮流となることを予見し、社員への教育や研修に注力してきたためであります。これら

端末の特性やユーザビリティを習得した社員を販売現場に数多く配置できたことで需要を捉え、新規販売数を大きく伸ばすことができました。

#### ② 新規販売の好調持続と新サービスによる新規販売の需要創出

上記 iPhone 以外の端末の新規販売も引き続き好調であり、加えて8月27日に新サービスの「のりかえ割」がソフトバンクモバイルより発表され、9月1日よりサービスを開始いたしました。同サービスは、他の通信事業者からMNP（モバイルナンバーポータビリティ）を利用して、ソフトバンクモバイルへ新規加入すると最大15ヶ月間で基本使用料が無料になるため、新規販売需要の創出が見込めること等からも、当第4四半期会計期間の新規契約の販売計画を上方修正いたしました。

#### ③ 機種変更の好調

平成22年3月末にサービスを終了する予定の第2世代携帯電話の利用ユーザーに、ソフトバンクが第3世代携帯電話への移行キャンペーンを継続的に実施したこと、並びに割賦契約期間が終了したユーザーの第3世代携帯電話から第3世代携帯電話への機種変更需要も堅調であったことから、機種変更は予想以上に好調に推移いたしました。当第4四半期会計期間においても引き続き一定の需要増加が見込まれると思われまます。

#### ④ 「販売の量及び質」に対する手数料の獲得

通信キャリアの手数料体系は、販売の量だけではなく、その販売の質も求められる時代になってきており、販売代理店は販売台数を向上させながら、同時に短期解約の防止や様々な顧客のニーズに応じた適切な新サービスの推奨を行うことにより、顧客単価のUPに努める必要があります。さらに、個々の店舗単位における「販売の量及び質」による総合力が求められるようになってきております。当社はこうしたソフトバンクモバイルの求める方向性に沿って、販売の量及び質の向上を図った結果、当第3四半期会計期間においては、これらに対する手数料を前回予想よりも高水準で獲得することができました。また、当第4四半期会計期間においても引き続き手数料の確保に努めてまいります。

この結果、通期の売上高が44,436百万円、営業利益が3,034百万円、経常利益が3,002百万円、当期純利益が1,668百万円にそれぞれ増加する見込みであります。

なお、当社は平成21年12月期より非連結の決算となりましたので、前期実績は、個別業績の数値を記載しております。

## 2. 平成21年12月期の配当予想の修正

### (1) 配当予想修正の内容

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前回発表予想 (平成21年2月12日発表)	円 銭 0.00	円 銭 1,300.00	円 銭 1,300.00
今回修正予想	0.00	2,600.00	2,600.00
当期実績			
(ご参考) 前期実績 (平成20年12月期)	0.00	1,300.00	1,300.00

## (2) 配当予想修正の理由

当社は業績、販売網の拡大、経営管理体制の強化、並びに将来の積極的な事業展開に備えるための内部留保資金の確保等を総合的に勘案し、株主の皆様への利益還元を安定的に維持継続することを基本方針としております。

平成21年12月期の配当金につきましては、当期の利益の業績予想が前回発表予想を大幅に上回る見通しとなったため、前回発表予想の1株当たり配当金(期末)1,300円から1,300円増額し、1株当たり配当金(期末)を2,600円に増配させていただくことといたしました。

なお、本件は、平成22年3月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

※上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上